

2017.1.9. 熊日新聞より

菊池は全国屈指のボート競技場を有しています。斑蛇口湖
菊池高校ボート部も活躍しました。



斑蛇口湖へボートを運び込む参加選手
= 菊池市

ボート集結 熊本にエール

菊池市で大会 全国から300艇

全国のボート愛好家が集う「ウィンターズカップ選手権」が7、8日、菊池市の斑蛇口湖であった。9回目の今年は、過去最多の約500人(300艇)が参加し、地震からの復興を目指す熊本に熱いエールを送った。

大会は、同会場を利用した2008年の大分県を記念して開催。大分県ボート協会が主催し、熊本県高体連が運営に協力している。

参加者は例年300人規模だが、「熊本と九州の仲間を勇気づけよう」という声が広がり、中学生から40代までの幅広い世代がエントリー。各チームが地元の名物をレースの副賞に提供した。

ボートが艇置き場に収容しきれず、駐車場や桟橋付近まではみ出す盛況ぶり。県ボート協会の増岡信二理事長(67)は「オフの冬場に多くの人が集まってくれた。熊本を思う気持ちがとてもありがたい」と感謝した。

岐阜県の高校生を引率してきた同県立加茂高の古田文博教諭(46)は「フェリーや鉄道を乗り継ぎ、半日以上かかったが、大会を盛り上げたかった。ボートの精神は、助け合いの心ですからね」と笑顔を見せた。(佐藤公亮)